

別紙

仕 様 書

- 1 東京国立近代美術館で稼働している「美術作品管理システム」(以下「本システム」という)の動作・利用環境(現状はシステム記述言語：PHP4, データベース：Oracle9i, ウェブサーバ：Apache1.3, サーバOS：Windows2003, クライアント：Internet Explorer6)を以下の環境に対応するように改修すること
 - (1) システム実装言語： PHP5.3 の最新版
 - (2) データベース： PostgreSQL9 または MySQL5.5 の最新版
 - (3) ウェブサーバ： Apache2.2
 - (4) サーバOS：(1) から (3) までの PHP 及びデータベース, ウェブサーバが動作するものとし, 特定の OS に依存しないこと。
 - (5) クライアント： Internet Explorer8 及び Internet Explorer9
- 2 平成 24 年 3 月 30 日までに改修後の本システムを東京国立近代美術館, 京都国立近代美術館, 国立国際美術館の各館に設置のサーバーに導入し, 各サーバーにおいて稼働試験を行うこと。
- 3 各館設置のサーバー導入より以前に, 東京国立近代美術館において, 改修後の本システムが, 元のシステムと同じ機能を有していることを検証すること。
- 4 改修に当たっては本システムのデータベース設計書及び本システムの実装コード(PHP4)を元に作業を行うこと。
- 5 本システムの実装に用いる文字符号化方式は UTF-8(バイトオーダーマーク無し)とすること。
- 6 本システムの実装において PHP からデータベースへの接続は PDO や PEAR::MDB2 等の抽象化層を介すものとし, データベースドライバが提供するデータベース固有の API を直接使用して実装しないこと。
- 7 本システムで使用するデータベースの変更等について最小限の記述の変更で対応できるように適切なモジュール化等を行って実装すること。

- 8 本システムの構築に必要なソフトウェアは不具合の修正等が十分に行われているものを選定すること。
また、当該ソフトウェアの特定バージョンに依存することなく、当該ソフトウェアについて不具合の修正等によるバージョン更新があった場合には適宜、バージョンの更新が可能であること。
- 9 データベースにリストアップするのが容易な形式・方法によりバックアップが作成できること。ただし、その形式・方法はデータベースに依存してもよい。
- 10 データベースに依存しない表現形式で本システム上の全データを取得(サーバのファイルシステム上にファイルとして保存)できること。その際、データ表現形式としては、TSV(タブ区切り)テキスト形式、JSON 形式、XML (ただし、整形形式であること)のいずれかとする。
- 11 エクスポートするデータの文字符号化方式は UTF-8(バイトオーダーマーク無し)とすること。
- 12 データのエクスポートはデータベース・テーブル単位に行い、複数のファイルが生成されてもよいものとする。
- 13 エクスポートする形式として TSV 形式を採用する場合、1レコード1行とし、項目間の区切りはタブ文字とすること。データ中に改行、タブ文字等の制御文字等がある場合には適当なエスケープシーケンスに置換すること。
また、第1行目は項目名を列記すること。
- 14 バックアップやデータエクスポートは OS が標準的に備える自動実行機能等で実行可能であること。
- 15 本システムのクライアント環境として使用するウェブブラウザは Microsoft 社 Internet Explorer 8 及び 9(IE8/9)を前提とするが、IE8/9 固有の機能は使用しないものとし、IE8/9 以外のウェブブラウザにおいても本システムの基本的な操作が正しく実行できること。
- 16 クライアントの操作性を高めるために必要に応じて Javascript を用いること。ただし、Javascript 以外の Flash 等の技術は用いてはならない。

- 17 Javascript を用いる場合には原則として jQuery ライブラリ及びその「プラグイン」ソフトウェアを用いること。クライアントの利用者インターフェース構築等のために必要な DOM 操作等は jQuery が提供する機能を使用して行うこと。
- 18 「システム導入作業手順書」及び「バックアップ/リストア/データエクスポート手順書」を作成し、それぞれ 3 部ずつ納品すること。加えて、手順書の PDF ファイルと、システム構築に必要なファイル(PHP スクリプト, 設定ファイル等)一式を書き換え不可能な光学ディスクに収め、3 部納品すること。
- 19 本件に関連して作成された全成果物 (PHP スクリプトファイル, HTML ファイル等, 文書等, 図版) の著作権, 知的財産権等の全ての権利は独立行政法人国立美術館が有するものとする。
- 20 本仕様に定めのない事項については, 独立行政法人国立美術館と請負者の協議の下で決定するものとする。

以上